

とうせい おか
伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

たよう しゅたいせい かんよう きょういく
～多様な主体性を涵養する教育～



少しずつ寒く感じる日も増えてきましたが、子どもたちは元気に登園して生活や遊びを進めています。

朝の受け入れ時には、「今日は、誕生日なんだよ！」「お友だちまだ来てない？」など会話が弾みます。自分の思いをいろいろな方法で伝えようとしたり、仲間を意識して確かめてみたりする姿が見られるようになりました。日々の子どもたちの成長が楽しみのひとつです。

現在、風邪症状のある子どもは少数いますが、お家の方が健康管理をしっかり行ったださっているお陰で、欠席している子どもは少なくおおむね健康で過ごせています。毎日の生活の積み重ねが生活リズムの定着につながることから、続けていってくださると大変うれしいです。

2学期後半は、子どもたちの成長に合わせ、地域の方とのつながりをもった取り組みを大事にしました。



地域とのつながりを深め、園生活をより豊かにする

～元保護者の方から届いたカヤネズミの巣をきっかけに～

田んぼの草刈りをなさっていた時に、カヤネズミの巣を見つけられ、園まで届けてくださいました。やってきたのは稲の上部に巧みに作られたネズミの寝床です。これは、子どもたちの学びのチャンスだと思い、園玄関エントランスに置くことにしました。子どもたちが興味・関心をもてるように環境を整えました。その瞬間から、親子でどこに巣があるのかワクワクしながら見ていました。先生たちに親子の様子を伝えて、クラスのみんなで見学に行きました。「どこに巣があるの？」「ネズミはまだいる？」など、ワクワクがとまりませんでした。そうこうしているうちに、年長組は図書室へ行き、図鑑で生態を調べ始めました。話し合いの末、「きっとみんなも知りたいよね。」ということになり、図鑑を設置しました。このように地域の人から受け継いだ教材を無駄にせず、園生活に取り入れていくことが大切だと思います。

現在、そのワクワク感から、見たこともないような大きさの柚を持ってきた年長組のお友だちがいます。手書きで「みんなで見えね。」と書かれています。玄関には、とてもいい香りが広がっています。興味・関心から始まった学びの芽がさらに広がっていくように教育環境を整えていきたいです。

この大きな柚の行先も現在、考え中です♡ビックサイズの柚の中は！？



カヤネズミの巣



観察【5歳児】



観察【4歳児】



観察【3歳児】



柚【5歳児提供】



さまざまな投げかけに対して自分の思いを表しました。



常日頃から子どもたちにとって身につけていきたい力は何かを考え保育計画を立案します。また、各年齢のねらいをもって取り組みの準備をします。

日々の園生活の中で、子どもたちの中に動植物を大切にする気持ちが芽生えてきました。私たちは、子どもたちとかかわりながら命の大切さを伝えるようにしています。食育活動、誕生日会、係活動など、全てに人の気持ちや命の大切さを考えられるチャンスがあります。私たちは、その瞬間を見逃さずに、子どもたちと一緒に学ぶ姿勢をもつように心掛けています。

この学びを深めるために、さまざまなゲストティーチャーと出会えるきっかけをつくっています。馬事センターのみなさん、りえ先生、わんらぶ・しあわせにゃんこさん、陶芸の先生などです。

人との出会いから、自分の気持ちを見つめ直す機会になれるように活動を続けています。

地域の人とのつながりから、園バザーを開催

～ちょこぼら部さんとの連携を図って～

子どもたちの教育環境を整える目的で、幼稚園バザーを開催しました。
たくさんの地域の方が来てくださり、ご協力をいただきました。

また、園の有志サークルのみなさんやボランティアのみなさんが応援をしてくださって準備も進みました。

何より子どもたちは、先生たちからどのような意図で行っているのかを伝えてもらい、自分たちのためにしてもらっていることもよく理解しています。

このような営みは、子どもたちの自己肯定感にもつながるものだと思います。うれしい、楽しいという気持ちをたくさん味わいながら、自分は大切にされているという経験を積み重ねていきたいと思っています。

尚、少し余った寄附の物品の一部を地域のフードパントリーの一角に提供させていただきます。

園教育にご協力をしてくださったみなさん、ありがとうございました。



あいママレストラン
ご利用ありがとう
ございました。完売♡

